

所属名	1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2 令和6年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み内容・課題等
長岡市医師会		<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病に対するかかりつけ医の知識・対応力向上のための講演会を随時開催 ・企業におけるメンタルヘルス対策として産業医の育成・研修 ・ゲートキーパー研修会への講師派遣 ・心の健康増進のための地域啓発活動や研修会への講師派遣 ・専門医療機関との関係強化
新潟県弁護士会	<p>根本部分は、しっかり計画ができていますので、後は、精度を高めることだと思います。</p> <p>他機関連携(連携制度、情報共有、連携特化の人員配置・育成)が重要だと思います。</p>	<p>各機関が受け持つ部分は、十分なクオリティで問題解決できると思います。連携が重要だと思います。実質賃金が下落し、生活困窮度合いが増しており、自殺リスクは高まっていると思います。</p>
長岡市薬剤師会	<p>【資料1】3.性別・年代別自殺者数の経年比較を見てもわかるように、全体の数を押し上げているのは、男40～60代である。令和5年は、この年代が49名中30名(61%)を占めている。しかし、令和3年・4年においては、数も占める割合も減少している。コロナ禍で自宅待機やリモートでの仕事の影響なのか。このグラフのみで言い切れる訳ではないが、職場での相談体制、職場の外で相談できる体制、健康診断で見落さず、初期にメンタルの不調を発見できる工夫など、さらなる充実が必要と感じた。</p> <p>また、関係性は定かではないが、令和3年40～60代男性は減少だが、女性は増加している。</p>	<p>① 長岡市薬剤師会主催の令和6年度市民公開講座は、「自殺予防」に関する内容を行う予定であり、準備中。</p> <p>② 新潟県薬剤師会が行う「自殺ゲートキーパー」研修会に長岡支部として、研修に参加する。また、会員の薬剤師には研修会への参加を広報している。</p> <p>毎年の開催により、「自殺ゲートキーパー」研修会の受講済薬部師は増加している。</p>
新潟県臨床心理士会	<p>様々なところできめ細やかに対応されていて、素晴らしいと思いますが、数値としては反映されず、今年度に入っても自殺された方についてお聞きすることが多いです。社会情勢が厳しい状態が続いているからでしょうか。自殺対策計画が効力を発揮できるまで、長期戦で取り組む必要があると思います。</p>	<p>臨床心理士は、医療、教育、福祉など、様々な分野で働いているのですが、これまで通り、それぞれのところで、自殺の予防や対応をしていく所存です。(具体的には心理士それぞれによります)</p>
長岡地域病院ソーシャルワーカー連絡会	<p>・「月別の自殺者数の推移」から、R5年に比べ、R6年は少なくなっている。今後、第2次計画に沿った事業の実施により、この状況が続いてほしいです。</p> <p>・重点施策の「職域層を対象とした取組の推進」と「若者を対象とした取組の推進」については、達成度がほとんどAAやAであり、順調に実施されたと思います。</p>	<p>・昨年度に引き続き、医療機関として、うつ病等の入院・通院治療に関する相談を受け、関係機関との連携が図れるよう取り組んでいる。</p> <p>・自殺企図等で医療機関にかかった患者さんが、必要な支援を受けられるよう様々な関係機関といかにスムーズに連携できるかということが課題と思われる。</p>
新潟県高等学校長協会	<p>県内では、特別な配慮を要する生徒や不登校生徒が大幅に増加しており、また、残念ながら高校生の自死事案が毎年数件発生しています。長岡市において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOSの出し方・受け止め方の教育 ・心ふれあい相談員・臨床心理士の配置 ・ゲートキーパー研修 ・デートDV出前講座 ・要保護児童対策 <p>などの事業等を行っていただいております。感謝いたします。</p> <p>今後も、これらの取組の継続と充実をお願いします。</p>	<p>○取組状況</p> <p>県立学校・県教育委員会では次のような取組を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会生徒指導課作成の「新潟県自殺予防教育プログラム(高等学校編)改定版」を活用した、全学年における自殺予防授業の実施。 1年生対象「SOSの出し方」、2年生対象「友達から相談を受けたときの対応」、3年生対象「高校卒業後の対応や相談先」 ・校内教員研修においてゲートキーパー研修の実施 ・生徒指導課による電話、メール、SNS相談。SC各校配置とSSW派遣。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮を要する生徒の増加。 ・保護者による理解・協力が常に得られる訳ではない。

所属名	1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2 令和6年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み内容・課題等
長岡商工会議所	長岡市の自殺の現状より、働き盛り40～59歳の有職同居男性の自殺者が多いこと、また自殺の背景にある危機経路より「仕事」が理由の自殺が多く衝撃であった。	今年度も社会保険労務士による「労務・メンタルヘルス相談」を毎月開催する他、企業の「健康経営」への取り組みに際し、参考にしていただくため「健康経営セミナー」を3回開催する。 1回目は6/25生活習慣病に関するセミナーを開催済み。 2回目は10月、3回目は2月に開催予定。
長岡市民生委員・児童委員協議会	1 資料2・P23・No76「ウィルながおか相談室 仕事・職場の悩み専門相談」事業に関して、自殺に追い込まれる問題として、職場での人間関係、セクハラ、パワハラ の悩み等が大きいと思う。職場に相談できる場所がない人は、No76の事業の他に、どこに相談したら良いのか。 2 小学校で運営委員をしているが、学校では不登校に関する問題が大きいようだ。資料2・P35・No123「子どもふれあいサポート事業」に、対応が記載されているが、小中学校と教育委員会の連携等、もう少し詳しく教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる場所があると良いと思われる ・子どもや障害者が発するSOSについて、一般の大人たちが汲み取って欲しい。
NPO法人女のスペース・ながおか	<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策および重点施策の各事業の達成度が前年比よりも上がっていることから、各担当課において設定した事業を順調に遂行していることがわかる。中には今回で取りやめとなっている事業もあるが、他事業と重複するという理由で廃止となった事業については情報共有や連携が図られたことによる効率化の結果ともいえ、自殺対策事業が良い意味で標準化していると感じた。長岡市の性別・年代別自殺者数の経年比較では、R4年からR5年の50歳～60歳代の男性の増加率が高い印象をうけた。県内20市別自殺死亡率ランキングで、長岡市はR4年度の8位からR5年度は3位に上がっている点も気になった。 ・資料2・P40・No2[働き方改革推進事業]に企業訪問による働きかけ事業があるが、啓発事業を継続することで“相談すること”への偏見やハードルが少しでも下がり、相談体制が企業の福利厚生として重要視され当たり前になる事を期待したい。また企業訪問の際、誰を対象にどのようなアプローチをしているのか具体例を知りたいと思った。 	<p>当法人では、日々の相談支援業務を通じ、相談者に丁寧に向き合うことで、相談者が抱える問題や生活環境など様々な情報から自殺ハイリスク者かどうかの見極めを行うこととなる。ハイリスク者と思われる相談者については、状況に応じて必要な情報提供や関係機関との連携を図りながら対応していく。</p> <p>最近、「働かない親」に経済的搾取をされている若年者の相談を受ける事がある。親の年代は50歳代が多い。親の失業により経済的な負担が同居する働く若年者にかかっている。親の再就職が困難になればなるほど、再就職への意欲も低下し、結果的に子どもへの依存が強まる傾向がみえる。年齢による再就職の厳しさが要因となって、メンタル不調を引き起こすケースもあれば、そもそも職場の働き方の問題が原因となってメンタル不調→退職となるケースもある。</p> <p>こうしたケースでは、家族構成員のそれぞれに対して、複合的な支援が必要となる。情報共有のあり方には課題があるが、より緊密に連携しなければ対応が難しいと感じる。</p>
長岡市社会福祉協議会	資料2・P27・No95「こころのとまり木相談会」について、対象となる方への周知の仕方、参加者の様子など現状を聞かせてください。	相談の場では相手の想いを受け止めることが基本と考えますが、相談を者から「結局何もしてくれない。」と言われて終了することが少なくありません。支援する側のモチベーションの維持も課題のひとつと感じています。

所属名	1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2 令和6年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み内容・課題等
長岡労働基準監督署	<p>(1) 労働災害防止団体の総会等で資料No.1により「働き盛り世代の男性」に自殺者が多い点について説明をした際、出席者と同じ世代で自殺者が多いことに驚いていた。事業場側にも自殺予防対策についての関心・必要性の認識はあるように思われた。</p> <p>(2) 資料No.2(P13)基本施策のNo.37「ゲートキーパー研修会」に職域の事業主、人事担当者または衛生管理者等メンタルヘルス対策担当者を対象者としてはどうか？配布しているリーフレット「あなたの職場でゲートキーパー研修を開催しませんか」のように職域で認知度が低い当該研修を事業場内で開催するのは難しいが、長岡市が実施する当該研修に担当者を参加させるのは可能であるという事業場側の意見があったため。</p> <p>(3) 資料No.2(P20)基本施策のNo.65「働き方改革推進事業」について、セミナー等において働き方改革関連法のうち過労死・過労自殺防止に係る法令(労働基準法及び労働安全衛生法)を説明することで協力は可能である。</p>	<p>(1) 長岡市内の労働災害防止団体が開催する総会等において以下のリーフレットを配布(5回、198枚)し、挨拶等の中で地域職域連携(メンタルヘルス対策)の一環として、長岡市の自殺の現状及びゲートキーパー研修等について説明を行い周知した。</p> <p>① 配布リーフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の自殺の現状について ・あなたの職場でゲートキーパー研修を開催しませんか ・大丈夫ひとりじゃないよ・・・ひとりで悩まず、相談してください・・・ ・令和6年度こころの健康相談会日程表 <p>② 配布先及び枚数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(5/10)建設業労働災害防止協会新潟県支部与板分会指導会(30枚) ・(5/13)災害防止団体連絡会議(13枚) ・(5/29)陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会総会(40枚) ・(5/30)建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会総会(50枚) ・(6/7)長岡労働基準協会理事会・総会(65枚) <p>(2) 当署入り口に上記(1)記載のリーフレットを置き、来署者に周知を行っている。</p> <p>(3) 令和6年度のメンタルヘルス対策についての集団指導(説明会)(11月予定)でゲートキーパー研修または長岡市の自殺予防対策の説明を行うことが可能か検討中である。</p> <p>(4) 事業場においてゲートキーパー研修を実施した場合、事業場から職域で当該研修についてアンケート調査の実施を検討して欲しい。職種、規模、職場環境によって当該研修の内容を変える必要があるのかについて興味がある。</p>
長岡警察署	<p>「長岡市自殺対策計画」に基づき市が取り組んでいる事業に、警察で把握した自殺企図者をつなげるための広報関係機関との連携に努めていきます。</p>	<p>警察本部、警察署、交番・駐在所で相談を受理した場合のほか、事件・事案・巡回連絡などの警察活動を通じて把握した場合において、助言・説得を行うとともに、関係機関の紹介及び同機関への情報提供・引継ぎに努めています。</p> <p>また、自殺企図事案を認知した際は、消防と連携して、現場での説得、制止、救助、救命等、命を守る活動を実施しています。</p> <p>自殺企図者の行方不明事案に対しても、警察力を発揮した調査活動を実施して発見に努めております。</p> <p>なお、自殺予告など、インターネットへの書き込みを認知した際は、本部サイバー犯罪対策課と連携し、緊急的に書き込み者の特定に努め、自殺防止対策を実施しています。</p>

所属名	1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2 令和6年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み内容・課題等
<p>長岡地域振興局健康福祉環境部</p>	<p>【資料1】長岡市の過去10年間の年代別自殺者数では、男性・働き盛りが多く、次いで女性・高齢期が続いています。また令和5年の自殺者数は前年比15件増の69件と増加しました。自殺者数及び自殺死亡率が令和3、4年と2年連続で低くなっただけに残念な思いがあります。ただ、自殺者数や自殺死亡率の増減は一定期間の経過観察が必要であり、今後の基本施策及び重点施策の取り組みが効果を上げてくるものと思われます。近年、年代別自殺者数では50歳代、40歳代、さらに80歳代が多くなっています。とくに80歳代では女性の比率が高くなっています。そのため、今後も職域層と高齢者とくに女性への取り組み強化が大きな課題と考えられます。</p> <p>【資料2】自殺対策事業進捗状況報告書では、AA,A評価が多く、様々な分野から予防対策充実が図られてきていることが伺えます。自殺予防はまさに生きる事の包括的支援であり、全ての世代に対して、地域の中で自分らしく生きる事を保障していくことに他なりません。今後、こうした様々な分野からの予防対策が必ずや大きな力になって、自殺に追い込まれることのない長岡市が実現することを願っています。そのため、今後さらに皆様とより一層連携・協働し予防・支援に努めていきたいと考えています。よろしくお願いします。</p>	<p>【若年層】①高校生へのこころの健康講座②高等学校教職員等への出前講座、ゲートキーパー研修③自殺ハイリスク者支援検討会を実施予定。</p> <p>【働き盛り世代】商工会議所・商工会を通じた普及啓発、企業・団体等での健康出前講座、ゲートキーパー養成研修、自殺ハイリスク者支援検討会を実施予定。</p> <p>【自殺未遂等ハイリスク者】①教育機関と地域機関の支援ネットワーク構築に向け好事例の紹介等を実施予定。②働き盛り世代の自殺ハイリスク者に関する事例検討会を開催予定。③未遂・既遂事例検討会の開催・支援</p> <p>【その他】関係機関と協働しながら個別支援を行うと共に普及啓発や支援ネットワーク体制作り等を実施します。</p> <p>【こころの相談ダイヤル】24時間対応 今後ともご理解ご支援をよろしくお願いいたします。</p>
<p>長岡大学</p>	<p>資料2・17ページ・No53「多世代健康まちづくり事業」について、次年度の実施計画の欄に、「市内の大学、専門学校、企業を対象に、こころの講座を実施していく」とあるが、大学、専門学校では、年間授業スケジュール策定後は、講座を組み入れることは難しいので、年内に大学・専門学校等と協議を行って、令和7年度の授業に組み入れてもらうことも必要である。</p>	<p>自殺予防のため、公的相談機関窓口について定期的にメールで周知案内を行っている。全学年において、ゼミでマンツーマン面談を実施してさまざまな相談や指導を行っている。</p> <p>臨床心理士を配置して、学業面や友人関係等で不安やストレスを感じている学生が相談する機会を提供している。(週1回以上)</p> <p>ハラスメントの防止と根絶に責任をもって取り組むため、ハラスメント防止委員会、リーフレット配付や設置を行っている。</p>